

「社会は明と暗に色分けされる」

神 示

時代の力を<sup>運命</sup>受けて 世界の姿は大きく変わる

人間は 経験で時代を計ることはできない

この真実を悟れる人<sup>人々</sup>が出てくる

悟れる人<sup>人々</sup>は

「人生の真理」がおぼろげに見えている

なれど 努力 経験で

「真理」を無視して「生きる」人<sup>人々</sup>も まだ多い

ここに 社会は 明と暗 生きる姿<sup>心</sup>が分かれてゆく

信者に申す

この世は 神の手の中

人類の知識 経験では及ばない力<sup>運命</sup>を受けて

守られている

この真実「真理」に気付いて

「教え」を人生の支えに生きるべし

心の動きは

神の手の中 守られ 導かれ

「心」明るく生きられる

「運命」が導く人生は

万人 万物の心<sup>運命</sup>に重なり

時代の変化に乗って生きられる

世界の姿が大きく変わる今<sup>今日</sup>こそ

経験を頼る人生<sup>時代</sup>を変える時

自然界の変化に流れの方向を知る「人生」に

夢 希望があると悟るべし

今は、時代の運命の力を受けて、世界が大きく変わる時を迎えています。既にさまざまなことが変わってきています。時代の運命が働き、いや応もなく変わる時にあるのです。

人類が育んだ知識で何とかしようと計略を立てても、思うようにいくものではありません。なぜなら、この世は運命の力で回っているからです。

社会の変化とともに、人知を超えた大きな力の存在を意識し、人間はもっと謙虚に生きるべきと、悟れる人も増えてくるはず。そのような人々は、この世の仕組み、道理がおぼろげながらも見えなくなるでしょう。

一方で、努力、経験に頼り、道理を無視して生きる人も、まだまだたくさんいます。そのように、人々の生き方が明と暗に分かれていくと、神は言い切られています。

いかに科学、技術が発達しても、人の知識、学問には限界があります。この世は、人の力をはるかに超えた神の力で、守られ、導かれているのです。

この事実気付く、神のお言葉、神示を心の支えに生きることです。そこに、心の動きが守られて、人生に何が起きようとも、必ず良い結果に導かれていきます。それが、真実の神のお力のなせる業です。

神が授けてくださった分、器に合う人生を歩めば、万人、万物の運命とも重なり、時代の流れに乗って生きられます。すなわち、神の意図どおりに、社会に役立つ生き方のできるのです。

社会は、明と暗に色分けされると、神は予言されています。世界が大きく変わる今こそ、経験ばかりに頼る考え方を変える時です。どれほど経験を積んでも、人間が手を出せる世界は限られているからです。

人は、自然界の動きから、多くの真理を読み解くことができます。道理をつかんで、正しい生き方をするとともに、自らの運命、身の丈に応じた、夢、希望のある人生が歩めるのです。

「社会は明と暗に色分けされる」

神 示

人生に生きがいを感じ 夢を抱いて「生きる」人と

希望なき日々を歩む人と

同じ時代に生きて

なぜ心が分かれゆくのか 分かるかや

環境にのまれ 調和できない心の動きに 因がある

信者に申す

悔いなき時を歩み抜くため

神は人類にあるべき姿を示している

家族で「教え」を学び

「真理」で心重なる家庭を築いて

人の心は「神」に守られる

人との出会いを生かし

喜び多い人生を歩む 人の心が

ここにある

—— 運命実体が重なり 補い合って

この世は 神の手の中 巡っている ——

この一言「真理」が深く悟れし人は皆

悔いなき時を生きるため

「真理」を人生の支えに生きるもの

「教え」が「実体」に気付きを引き出し

奉仕に生きる思いを強く持たせる

「教え」が家族の心を一つに重ね

支え合って「生きる」家庭を築く

社会を色分けする現実を知って

今こそ心正しく「信者の道」をゆく時

同じ時代にありながら、生きがいを感じられる人と、希望のない毎日を送る人がいるのは、なぜでしょう。それは、環境に順応できるか、のまれてしまうか、調和できるか否かにかかっていると、神はお教えくださいます。

だからこそ、一人一人が悔いのない人生を歩めるように、人としてあるべき心の在り方を、神はお示しくくださっています。それが、神示です。

ですから、家族そろって神示に触れ、心が通い合う家庭にすることです。和のある家庭に身を置くと、人の心は安定し、時代や環境など、もろもろの運命の力と重なり、守られます。災いを逃れたり、困難があっても、力強く乗り越えて糧にできたり、必ず好結果となります。

そのような人は、さまざまな人との縁を大切に、それを生かして、喜びの多い人生が歩めるでしょう。毎日、生きがいを感じて暮らす人と、生きる気力も薄い人に分かれる中で、家族と正しく関わる人は、運命に守られ、自身の良さが最大限に生かせるのです。

この世は、運命実体が重なり、補い合いながら巡っています。人の一生も、生まれては閉じることを繰り返し、巡る、永続性のあるものです。

その仕組みを知ったなら、人生を悔いのないものとするように、教えに沿って生きましょう。今生は一度でも、心の道は子々孫々へとつながります。すなわち、自分の心の道を整えるために、今があるとも言えるのです。

教えを学ぶと、実体の改めるべき点に気付けるはずです。そして、運命を生かして多くの人の役に立とうと、奉仕に生きる思いが強くなるでしょう。

神の教えが、最も大切な家族の心を一つにします。そして、互いに支え合って生きる家庭ができていくはずですよ。

社会が明と暗に色分けされる現実を知り、今こそ正しい生き方を心掛けましょう。そこに、万人、万物と調和して、心も明るく、生きがいにあふれた毎日が送れるはずです。